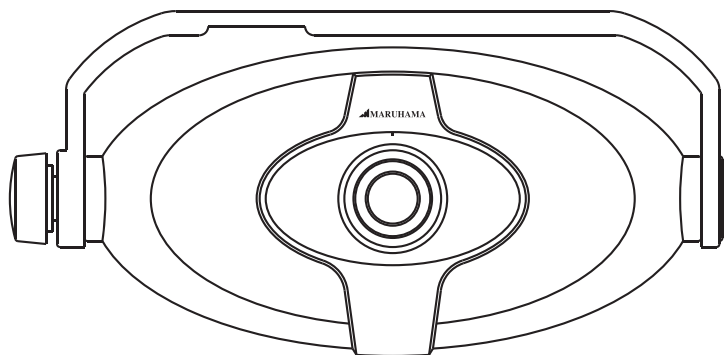


# RoadView Ai

車両事故記録カメラ ロードビューアイ DR-967RV

## 取扱説明書



DR-967RVをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上で、ご使用くださるようお願いいたします。また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

**本機は DC12V/24V 車（マイナスアース）専用です**

## 目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 主な特長	3
3. 製品の構成	4
4. 各部の名称と機能	5
5. 取付、接続方法	6
6. 使用方法	10
7. 故障とお考えになる前に	28
8. 主な仕様	28

## — 1. 安全についてのお願いとご注意 —

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。

### ⚠ 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)



- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。  
本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。  
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
- 本機を濡らさないでください。



- 水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。



- 車を運転中に本機を操作しないでください。  
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。



- ケースは絶対にあけないでください。  
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。



- 発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。  
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



### ⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)



- 衝撃や強い振動を加えないでください。  
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。



- 動作範囲内の温度条件下でご使用ください。  
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。



- 高温時の取り扱いにご注意ください。  
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。



- ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。



- シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。



### 機能上の制約



- 日本国内で使用してください。  
本機の仕様は日本国内となっています。
- 本製品は道路運送車両法・保安基準第29条の前面ガラス装着規制から除外指定商品となっています。  
但し、設置場所はフロントウィンドウの上端から上下方向に1/5以内の場所に限ります。
- 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。  
以下の場合など衝撃が検知できず映像が記録できないことがあります。  
① 衝撃が弱く本機が検知するように設定されたGセンサー感度に満たない場合。  
② 本機の本体が固定されていなかったり、取り付け後の角度調整が行われていないなど、本機の取付状態に問題がある場合。  
③ 大きな事故や水没などで本機が損傷を受けた場合。
- 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

## 2. 主な特長

■**目撃者がいない場合でも映像があれば事故処理がスムーズにできます**  
 飛行機事故が起きたとき、フライトレコーダーを回収して、事故原因を解明しますが、このフライトレコーダーと同じ役目をするのがドライブレコーダーです。今までの交通事故の調査は状況証拠と当事者の証言、目撃者からの情報等でしたが、ドライブレコーダーにより客観的証拠として迅速かつ確実に調査が行われ、お互いの過失割合を正確に判断することが可能になりました。

■**装着することにより、ドライバーの安全運転意識が向上し、事故減少につながります**

■**インストール不要**

映像の確認はパソコンで簡単にできます。ソフトのインストールは不要です。また、ビデオ出力付ですので、車載モニターTV等で記録映像をその場で再生することができます。

■**撮影記録時間は事故前10秒/事故後6秒**

記録時間は16秒、記録件数は10件（11件目は1件目に上書き）  
 付属のメモ리카ードに記録されます。

■**手動による録画も可能**

衝撃発生の自動録画だけでなく、手動による録画も可能です。

■**バックアップ電源搭載**

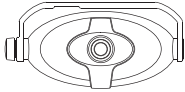
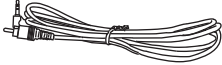



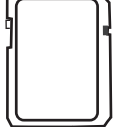
大きな衝撃により車の電源が切れた場合でも内蔵のバックアップ電源で記録ができます。

■**取付簡単**

カー電源コードをシガーライターソケットに差し込み、本体を両面テープでフロントガラスに貼るだけ。

## 3. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。  
 内容をご確認ください。

 <p>本体（取付ステー付）・・・1台</p>	 <p>ビデオケーブル 約1m              (本体側3.5φミニプラグ、TV側RCAピンプラグ)・・・1本</p>	 <p>カー電源コード（約3m）・・・1本</p>
 <p>ステー固定用両面テープ・・・1枚</p>	 <p>コードクリップ・・・3ヶ</p>	<p>メモ리카ード・・・1ヶ</p>  <p>取扱説明書（本冊子）・・・1冊              保証書付</p>

※映像を再生するには、別途パソコンが必要となります。

※動作環境：SDカードまたはMMCカードが使用でき、Windows XP/Vistaがインストールされたパソコン

※別売品：GPSユニット

販売店または弊社サービスセンターへお問い合わせください。

※ご使用になるパソコンによってはカードリーダーが必要になる場合があります。  
 その場合には接続可能なカードリーダーを別途ご購入ください。

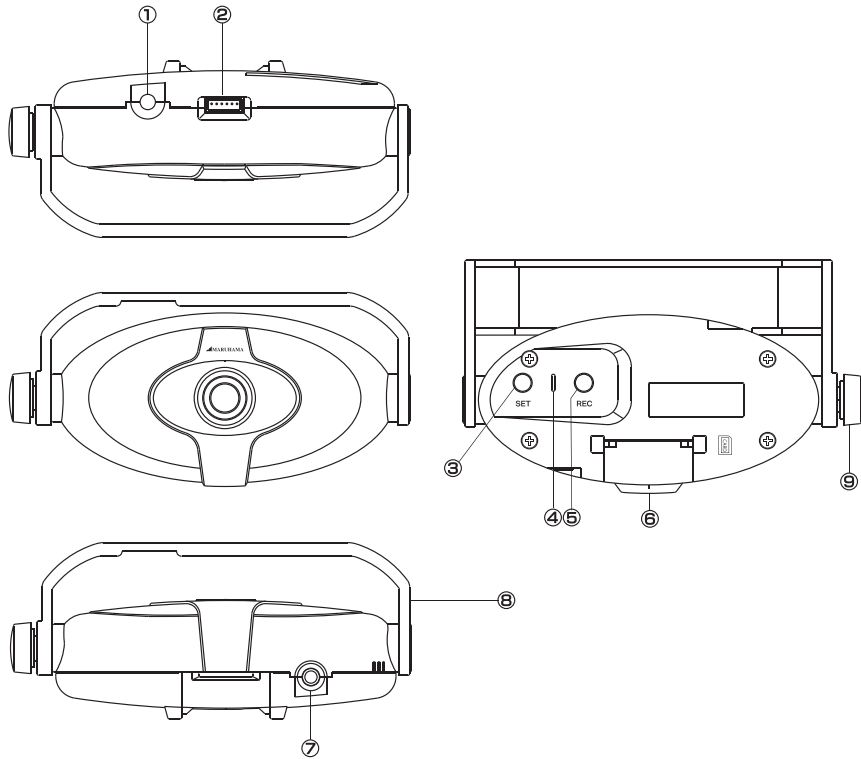
※Microsoft、Windows Vista、Windows XPは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※Google Map(グーグルマップ)は Google Inc. の登録商標です。

## 4.各部の名称と機能



### ①電源ジャック (DC IN)

付属のカー電源コードを接続します。

### ②GPSユニット接続端子 (GPS)

別売のGPSユニットを使用する場合に接続します。

### ③SET ボタン (SET)

アラーム音の ON/OFF 設定、その他各種設定。

### ④動作ランプ

動作、エラーに対応し、緑、黄、橙で点灯、点滅。

### ⑤REC ボタン (REC)

手動撮影、その他各種設定。

### ⑥メモ리카ード装着蓋

蓋を開け付属のメモ리카ードを挿入します。

### ⑦ビデオ出力端子 (VIDEO)

記録映像、リアルタイム映像をモニター TV で見るとき接続します。

### ⑧取付ステー

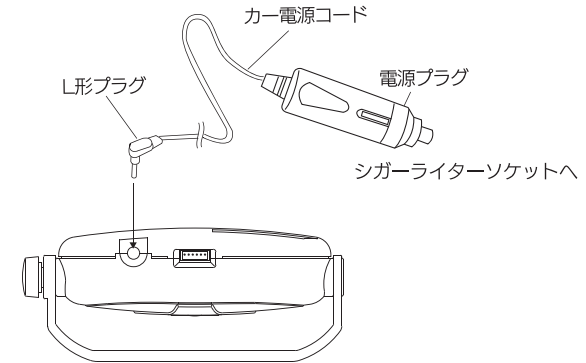
付属の両面テープを貼り、車のフロントガラスに取り付けます。

### ⑨取付ステー固定ねじ

## 5.接続、取付方法

### 1. 接続方法

- ①付属のカー電源コードの L 型プラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
- ②カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。



#### ご注意

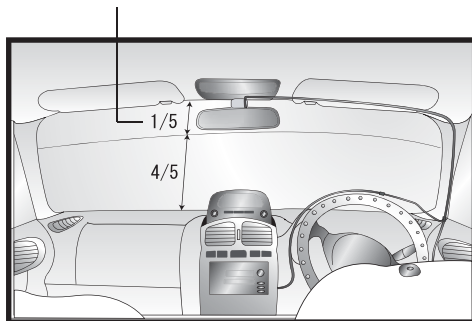
- ・シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- ・カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

## 2. 本体の取付方法

### ①取付上のご注意

- 車を平らで安全な場所に駐車して取付をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないようにコードクリップで固定します。
- ルームミラー裏のフロントガラスに取り付けてください。  
但し、道路運送車両法・保安基準に適合するように取り付けてください。
- 点検シールや検査標章などと重ならないようにしてください。
- 両面テープで貼り付ける際、最初にセロテープなどで仮止めをしてから貼ることをおすすめします。

フロントウインドウの上端から上下方向に 1/5 以内の場所に取り付けてください。



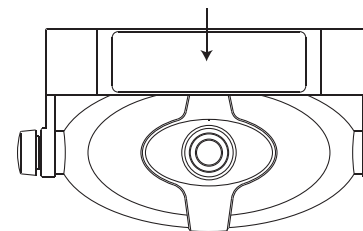
- 前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。製品の基本装着位置は中央です。ルームミラーは運転者または同乗者が操作することがあるため、ルームミラーを操作する時に邪魔にならない位置に取り付けてください。
- カーナビゲーション、ETC など電波を受信する機器から離して取り付けてください。

### メモ

取り付けをする場合P23のリアルタイム映像でモニターTVを確認しながら作業を行うと実際の視野がわかり便利です。

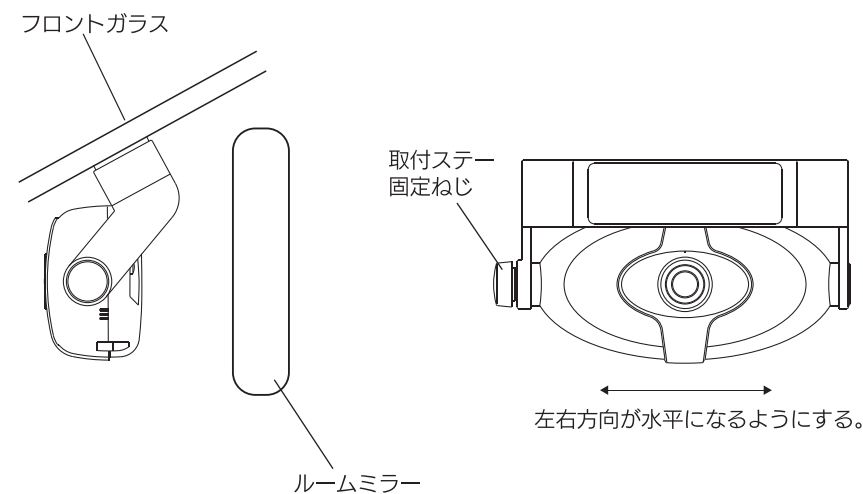
### ②本体の取付ステーに付属の両面テープを貼り付けます。

両面テープを貼る（取付ステーのくぼみに合わせて貼ってください）



### ③両面テープのもう一方の面をガラスに貼り付けます。

- 車両の中央部に合わせます。
- 左右が水平になるようにガラスに密着させます。



左右方向が水平になるようにする。

④垂直になるように前後角度を調節します。

●正確に垂直にするためには以下の手順で設定をしてください。

1. すべての接続をして、車のエンジンをかけ“設定モード”にします。
  - ・本体の“SET” ボタンを長押しすると“ピッピー”とアラーム音が鳴り設定モードになります。
2. カメラを前後に動かし、本体のランプが黄色で速い点滅をすれば垂直の位置です。
3. 垂直に設定できたら、取付ステー固定ネジでしっかりと固定します。
4. 通常モードに戻します。
  - ・本体の“SET” ボタンを長押しすると“ピッピー”とアラーム音が鳴り通常モードになります。
  - 通常モードになるとランプは橙で点灯します。

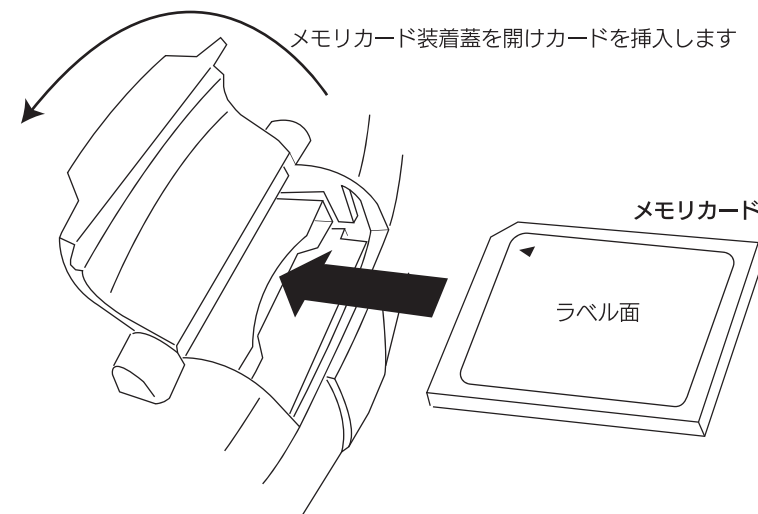
## 6. 使用方法

### 電源を入れる/時間設定

#### 1. メモリカードを本体に差し込みます

付属のメモリカードを本体のカード装着部に“カチッ”と音がするまで挿入します。

このときカードの向きに注意してください。



#### 2. 電源を入れます

車のエンジンをかけ、本体の電源を ON にします。

このとき、メモリカードが挿入されていないと“ピー”とアラーム音が約 1 秒鳴り、ランプが橙で約 5 秒速い点滅をします。

#### 3. メモリカードの初期化

未使用のメモリカードを挿入するとメモリカードの初期化が自動開始します。

このとき、本体のランプが緑、橙交互に点灯します。数秒すると初期化は終了し、ランプは橙の点灯に変わります。

#### ご注意

・メモリカードに異常があると初期化ができません。この場合“ピー”とアラーム音が鳴りつづけ、ランプが橙で速い点滅をします。  
販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

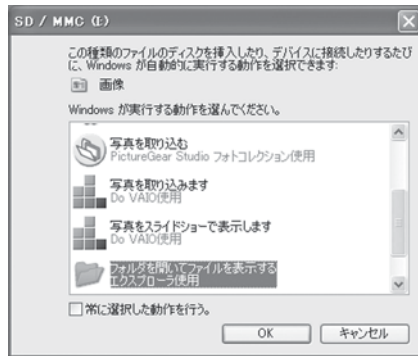
## 4.時間設定

### ご注意

工場出荷時に時間合わせをしますが、長時間1回も電源がはいるないと、内蔵のバックアップ電池が消耗し、正しい時間が得られない場合がありますので、ご購入後はテスト撮影を行い時間が正しいか確認してください。時刻のズレが生じた場合は、以下の時間設定を行ってください。

メモ리카ードを本体から抜き、お手持ちのパソコンに挿入します。  
このときカードの向きに注意してください。

(1)パソコンがメモ리카ードを検出すると次の画面が出ます。



“フォルダを開いてファイルを表示する． エクスプローラーを使用” を選択して“OK” ボタンをクリックします。

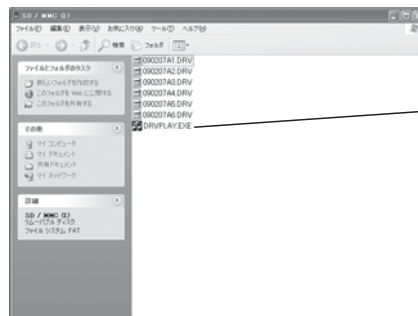
### ご注意

上記画面が出ない場合は“マイコンピュータ”をクリックしてメモ리카ードが挿入されているドライブをクリックしてください。

(2)下記画面が出ます。

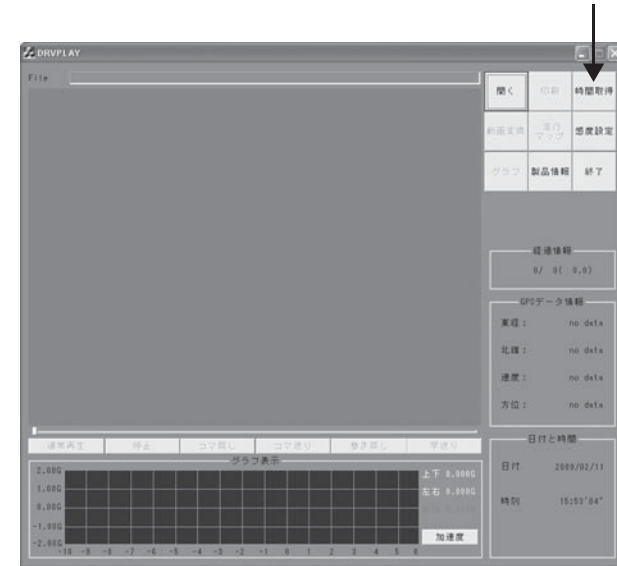
“DRVPLAY” をダブルクリックします。

(パソコンの設定によって、表示画面が異なる場合があります。また、DRVPLAY.EXE となる場合があります)



(3)ビューア画面が出ます。

下記のビューア画面がでたら、“時間取得” ボタンを選択（クリック）します。



### ご注意

モニタ最低解像度は1024×768以上です。

## メモ

- パソコンによってはプログラムソフトが起動しない場合があります。その時はP27の“プログラムソフトが起動しない場合”を参照し、手順に従って操作を行い、初めからやり直してください。

(4)パソコンのシステム時間を取得します。

パソコンのシステム時間が正常に取得されると下記画面が出ます。  
OK ボタンをクリックしてください。



## (5)時刻を合わせる。

パソコンからメモリカードを抜き、1時間以内に本体に挿入します。

次にラジオ等の**毎時の時報**に合わせ、本体の“REC”ボタンと“SET”ボタンを同時に押すと正しい時刻に設定されます。このとき、アラーム音が“ピッ”と鳴ります。

### メモ

- 時計の精度は月差数十秒ですが、定期的に時報等に合わせ、REC、SETボタンの同時押しで正しい時刻に設定することをおすすめします。
- 別売のGPSユニットを接続すれば、時間合わせは自動的に行われます。

## 衝撃発生から映像確認までの流れ

### 〈衝撃発生があると・・・〉

#### 1.映像の記録

一定以上の衝撃があると、映像を自動保存します。撮影中は本体のランプが橙で点滅し、撮影が完了すると“ピー”とアラーム音が約0.5秒鳴ります。

※10件の映像が保存可能です。

11件目は1件目に上書きされます。

※録画時間は衝撃発生前10秒と発生後6秒の計16秒間です。

### メモ

- 本体の“REC”ボタンを短く押すことにより手動の録画も可能です。このとき“ピッピッピッ・・・”とアラーム音が鳴ります。
- メモリカードが挿入されていない時に手動録画をすると“ピー”とアラーム音が約1秒鳴ります。
- 衝撃感度は変更することができます。(P19感度の設定、P25衝撃感度の本体での設定参照)
- 特定のアラーム音は設定により変えることができます。(P24特定アラーム音のON/OFF設定参照)



## 2.映像の再生

メモリーカードをカメラ部から抜き、お手持ちのパソコン挿入します。  
このときカードの向きに注意してください。

(1)パソコンがメモリーカードを検出すると次の画面が出ます。



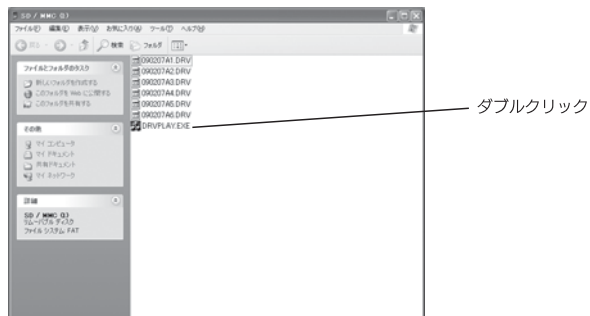
“フォルダを開いてファイルを表示する． エクスプローラーを使用” を選択して“OK” ボタンをクリックします。

**ご注意** ・上記画面が出ない場合は“マイコンピューター”をクリックしてメモリーカードが挿入されているドライブをクリックしてください。

(2)下記画面が出ます。

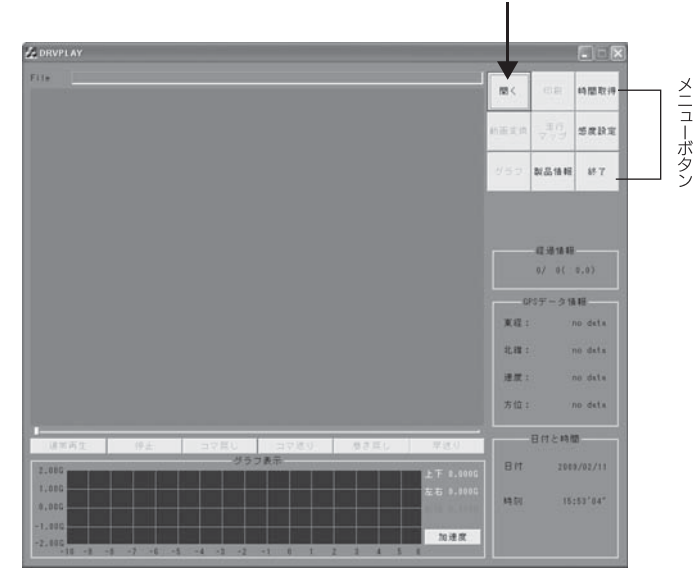
“DRVPLAY” をダブルクリックします。

(パソコンの設定によって、表示画面が異なる場合があります。また、DRVPLAY.EXE となる場合があります)



(3)ビューア画面が出ます。

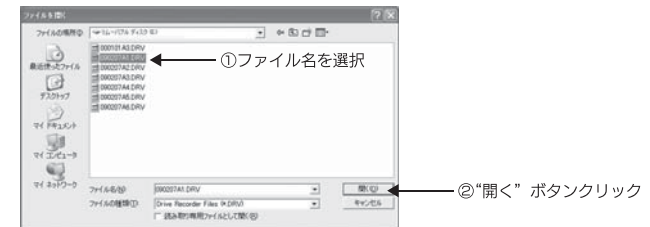
下記のビューア画面がでたら、メニューの“開く” ボタンを選択 (クリック) します。



**ご注意** ・モニタ最低解像度は1024×768以上です。

(4)ファイルを開く

“ファイルを開く” ウィンドウが出てきたら、ファイル名選択して“開く” ボタンをクリックしてください。



### (5)再生画面が表示されます。

- 操作ボタンで通常再生、早送り、停止、コマ送り、コマ戻し、巻き戻しの操作を行うことができます。
- 他の映像を再生したい場合は“開く”ボタンをクリックすると(4)ファイルを開くに戻りますので、同様の操作を行ってください。



**ご注意** • GPSデータ情報は別売のGPSユニットを接続しないと表示されません。(※1)

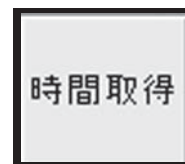
### 3.メニューボタンの説明



- 保存された映像データを開きます。(P16 参照)



- 現在の画面を印刷できます。



- 本体の時間をパソコンの時間に合わせます。(P12 参照)



- 選択された映像を動画 (avi) に変換しウインドウズ・メディアプレーヤーで見ることができます。

## 走行 マップ

- 別売のGPSユニットを接続すれば、選択された映像の走行軌跡をGoogle Map上に表示することができます。但し、インターネットの接続が必要です。



### ご注意

- GPS測位していない時は走行軌跡は表示されません。
- インターネット接続料金などの通信費はお客様ご負担となります。
- Google Map (グーグルマップ) はGoogle Inc.の商標登録です。

## 感度設定

- 敏感に反応しすぎるときは、初期設定値以上の数値に変更してください。逆に鈍いときは、初期設定値以下の数値に変更してください。0.01 から 3.00G まで 0.01G 単位で設定が可能です。設定後 OK ボタンをクリックしてください。

### 感度設定

前後方向(Az)

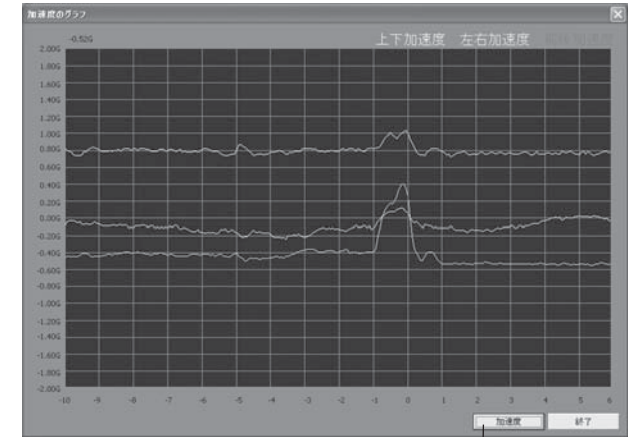
左右方向(Ay)

上下方向(Ax)

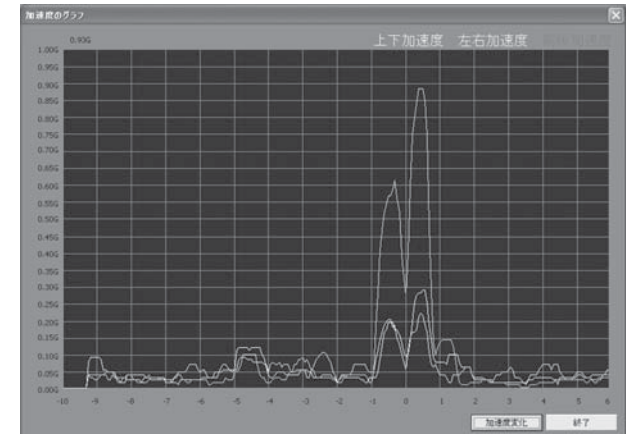
[G]

## グラフ

- 加速度データが表示されます。加速度は  $1G=9.8m/sec^2$  で定義して、加速度変化は 0.7 秒間の変化量 (最大値-最小値) を意味します。



このボタンを押す度に加速度、加速度変化のグラフが表示されます。





- ・ 弊社のホームページが表示されます。  
但し、インターネットの接続が必要です。



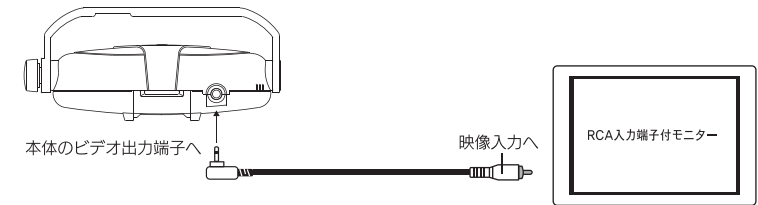
- ・ プログラムを終了します。

## 4.モニターTVでの再生

本製品はビデオ出力付ですので、ビデオ入力付の車載モニター等で記録映像をその場で再生することができます。

### 【再生方法】

- ① 付属のビデオケーブルを本体とモニター TV に接続します。



#### ご注意

- ・ 付属のAVケーブルのテレビ接続側の端子形状はRCAピンプラグになっています。お手持ちのテレビがRCAピンジャックでない場合は市販の変換プラグ等で対応してください。
- ・ 接続するモニターの形状が合わない場合は、モニターのメーカー様へお問い合わせください。

- ② 設定モードにします。

- ・ 本体の“SET” ボタンを長押しすると“ピッピー”とアラーム音が鳴り設定モードになります。  
設定モード中はランプが黄色で点滅します。

- ③ “REC” ボタンを短く押す度に記録映像の再生、停止ができます。

- ④ “REC” ボタンを長押し続けると記録映像の早送りができます。

- ⑤ “SET” ボタンを短く押すと1つ前の映像記録になります。

- ⑥ 再生の終了

- ・ 終了する場合は、“SET” ボタンを長押しします。  
このとき“ピッピー”とアラーム音が鳴り通常モードに戻ります。  
通常モードになるとランプは橙で点灯します。

#### ご注意

- ・ メモリカードが装着されていないと再生できません。
- ・ モニターTVにビデオ入力がない場合は再生できません。また、入力端子形状がRCAピンジャックでない場合も再生できません。

### 【リアルタイム映像】

- ①付属のビデオケーブルを本体とモニター TV に接続します。
- ②本体からメモ리카ードを取り出します。
- ③設定モードにします。
  - ・本体の“SET” ボタンを長押しすると“ピッピ”とアラーム音が鳴り設定モードになります。
  - 設定モード中はランプが黄色で点滅します。
- ④映像が常時モニター TV に映し出されます。
- ⑥リアルタイム映像の終了
  - ・終了する場合は、“SET” ボタンを長押しします。
  - このとき“ピッピ”とアラーム音が鳴り通常モードに戻ります。
  - 通常モードになるとランプは橙で点灯します。

#### ご注意

- ・メモ리카ードが装着されているとリアルタイム映像になりません。
- ・リアルタイム映像中は衝撃発生時の記録映像を保存することはできません。
- ・モニターTVにビデオ入力がない場合は映すことができません。また、入力端子形状がRCAピンジャックでない場合も映すことができません。

## その他設定

### 特定アラーム音のON/OFF 設定

#### 設定方法

1.本体の“SET” ボタンを短く押す度に特定のアラーム音のON/OFFを設定することができます。

〈特定アラーム音〉		ON (お買い上げ時)	OFF
手動撮影	メモ리카ード装着	“ピッピッピッ”・・・	“ピッ”
	メモ리카ード非装着	“ピー”と1秒	無音
撮影完了時		“ピー”と0.5秒	無音

設定モード	設定時の音
ON	“ピッ” (お買い上げ時の設定)
OFF	無音

※モード切替時にランプが黄色で4回点滅します。

## 衝撃感度の本体での設定

感度設定はパソコンで行いますが、メモ리카ード装着後少し感度を変えたい場合、パソコン設定値に対し本体で微調整ができます。

### 設定方法

本体の“REC” ボタンを長押しする度に感度が切り替わります。

感度設定	設定時の音	設定時のランプ	
高感度	“ピッピッピッ”	黄色で3回点滅	設定値の約15%高
中感度	“ピッピッ”	黄色で2回点滅	(パソコンでの設定値)
低感度	“ピッピッ”	黄色で1回点滅	設定値の約15%低

## メモ리카ード上の映像の保存と消去

### ■映像を保存する場合

1. P15 2. (2) メニューバーの「編集」から「すべて選択」を選択します。
2. 次に「編集」から「コピー」を選択します。
3. 保存先フォルダ（保存のフォルダを作成しておくとう便利です）を開きます。
4. メニューバーの「編集」から「貼り付け」を選択してコピーします。

### ■映像を消去する場合

1. P15 2. (2) メニューバーの「編集」から「すべて選択」を選択します。
2. 次に「編集」から「削除」を選択します。  
(映像フォルダの一部消去はできません)

## 注意事項

- 撮影トリガが発生すると撮影を開始しますが、撮影完了までの間に撮影トリガが重なった場合は最初の撮影トリガから10秒前と最後のトリガから6秒後の映像を記録しますので、撮影時間が長くなります。
- ラスト撮影完了から次回撮影開始までが10秒未満のときは撮影トリガ発生前の記録時間が短くなります。
- パソコン本体のカードスロットではメモ리카ードを認識しない場合があります。その場合は外部にカードリーダーを接続してください。
- メモ리카ードには寿命があります。目安として1日4時間の使用で約6年ですが、再生映像に乱れが発生するようになり、紛失、破損を起した場合、弊社からのメモ리카ードの購入をお勧めします。止むを得ず市販のメモ리카ード（MMCカード又はSDカードで128MB～2GB品）を購入する場合はできるだけ書き込みスピードが速いものをお勧めしますが、メモ리카ードによっては動作しない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- LED式信号機は高速で点滅している為、記録映像では、点滅したり消灯しているように見える場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺状況から判断してください。LED式信号が映らない件については 弊社は一切責任を負いません。

## プログラムファイル (DRVPLAY) が起動しない場合

エラーが出てプログラムファイルが起動しない場合は、下記手順で操作してください。

### 1. 弊社ホームページのダウンロード画面へ直接アクセス

- [www.mrhm.co.jp/dl/roadrview/](http://www.mrhm.co.jp/dl/roadrview/) を入力してアクセスしてください。

### 弊社ホームページのトップ画面からアクセス

- [www.mrhm.co.jp](http://www.mrhm.co.jp) を入力してアクセスしてください。
- ①トップ画面左上の「ダウンロード」をクリック。



②「ドライブレコーダー」をクリック。



### 2.DR-967RV のダウンロードボタンをクリック

ダウンロード			
製品名	種類	ダウンロード	サイズ
DR-967RV	SETUPDLL	<a href="#">ダウンロード</a>	EXE約1MB

### 3. 実行、保存、キャンセルボタンがでます。「実行」ボタンをクリック。

「保存」をクリックした場合は、任意の場所に保存してください。次に「保存」したファイルを「実行」してください。

### 4. 完了

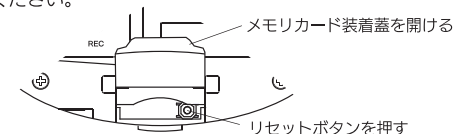
プログラムソフトが起動するか確認してください。

#### ご注意

- SETUPDLLを実行するには、インターネットの接続が必要です。インターネットを接続していない場合は弊社サービスセンターへご相談ください。
- インターネット接続料金などの通信費は、お客様ご負担となります。

## 7.故障とお考えになる前に

症状	原因
• 電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カー電源コードがDCI Nジャックにしっかり接続されていない →カー電源コードをDCI Nジャックにしっかり接続してください</li> <li>●カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない →カー電源コードを車のシガーライターソケットにしっかり接続してください</li> <li>●カー電源コード先端に入っているヒューズが切れていませんか? →新しいヒューズ (1A) と交換してください</li> </ul>
• 映像が記録できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一定以上の衝撃がないと記録されません。 衝撃感度の設定を高感度にしてください。</li> <li>●衝撃が大きすぎて電源が切断されると撮影されない場合があります。</li> <li>●メモ리카ードが装着されていない。カードを本体に挿入してください。</li> </ul>
• 映像の視野がズれる	●カメラ角度等、再度、調節してください。
• 動作がおかしい・ランプが点かない、ボタンを押しても無反応等	●リセットボタンで復旧する場合があります。下図のメモ리카ード装着蓋を開けメモ리카ードを取り出し、リセットボタンをボールペンの先等で押してください。



- ※リセットすると時計等の設定がお買い上げ時に戻りますので、時計合せは必ず行ってください。
- ※リセットボタンを押しても復旧しない場合は、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

## 8.主な仕様

●撮像素子	30万画素 CMOSカラーイメージセンサー
●フレームレート	15フレーム/sec
●最低被写体照度	2LUX
●画角	90° (水平)
●画像サイズ	VGA (640×480)
●衝撃感度	0.01~3.00G
●撮影トリガ	衝撃発生またはRECボタン
●映像記録回数	10回 (11回目は1回目の記録に上書き)
●映像記録媒体	メモ리카ード
●映像記録時間	前10秒/後6秒の合計16秒
●パソコン動作環境	WindowsXP/Vista (SDカードまたはMMCカード対応) モニタ最低解像度: 1024×768以上
●電源電圧	DC12/24V
●外形サイズ	102 (W) × 50 (H) × 32 (D) mm 取付ステー含まず
●質量	約77g

## ●保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
  - (イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
  - (ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
  - (ニ)保証書のご提示がない場合。
  - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は、日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。  
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

### ■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。  
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### ●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただきますことがあります。  
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。

### ●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス                      フリーダイヤル                      0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は              TEL                                      045-251-2687  
営業時間：月～金 9:00～12:00/13:00～18:00(土日祝・当社指定日を除く)

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。  
正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	車両事故記録カメラ ロードビューアイ <b>DR-967RV</b>		
保証期間	※ お買い上げ年月日		<b>1 年間</b>
	年 月 日から		
※お客様	住所	〒 電話	
	氏名	様	
※販売店	氏名	印	
	住所	〒 電話	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4丁目43番地4